

学校名	長崎県立宇久高等学校
授業者	松尾 匡敏

## 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

### 1-1. 単元名

探究活動 Uku Labo 地産食品開発

### 1-2. 学年

2年

### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な探究の時間

### 1-4. 単元の概要

宇久島の美しい海において磯焼けの原因として考えられているガンガゼは、地元の漁師たちにより定期的に駆除作業が行われている。しかし、駆除後のガンガゼは廃棄されるのみで有効には活用されてこなかった。そこで、駆除後のガンガゼを有効利用するために、地域の漁業集落や観光協会の協力のもと、ガンガゼや市場価値の低い魚を用いた魚醤油製造に取り組む。また、完成した魚醤油を宇久島の内外において販売することを目指し、ボトルのラベルデザイン、販売実習に向けての計画・広報活動などにも取り組んでいく。

同時に、宇久島に生育している福原オレンジをマーマレードに加工し、食品企業や観光協会と協力して、オンラインでの販売を実施し、宇久島のPRに取り組む。

### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

探究活動 Uku Labo は平成29年度に開始し、今年度で5年目を迎える活動である。2年生は、磯焼けの原因として考えられ、美しい宇久島の海を荒らすガンガゼ（ウニの一種）を有効活用する方法として、駆除されたガンガゼを用いた魚醤油の醸造を行っている。同時に市場価値が低く、廃棄される魚も魚醤油の材料として利用している。また、島に生育している福原オレンジを用いてマーマレードの製作に取り組む。完成した魚醤油やマーマレードを島の内外において広く販売することを目指して、ボトルのラベルデザインや、販売実習に向けた計画・広報活動に取り組む。これらの活動を通して、故郷の現状と課題について考え、地域活性化のために高校生ができることを考える機会を持たせることがねらいである。

### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・地域の方や友人と協働し、活動に積極的に取り組む態度
- ・故郷を愛し、故郷に貢献しようとする態度
- ・地域の課題を見つけ、解決策を模索する能力
- ・研究内容をわかりやすく伝えるために工夫し、発表する能力

1-7. 単元の展開（全48時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
2	ガイダンス 全学年での探究活動に関するガイダンスを実施後、2学年の活動に関するガイダンス（今年度のテーマ、目標、活動内容に関しての確認）。	①検討事項について話し合いが円滑に進むように生徒への助言を行う。 ②観察 ④ワークシート
5	マーマレードの加工 福原オレンジの皮むきと果汁絞りをを行う。材料を決められた比率で煮込み、マーマレードをつくる。	①適宜助言を行う。 ②観察、ワークシート ③加工は調理室と漁業集落で行う。作業のようすを食品会社などが取材し、広報活動に使用する。 ④ワークシート
4	魚醤油の仕込み 材料であるガンガゼの殻を割り、魚をミンチにする。その後、材料を混ぜ合わせ仕込みを行う。	①適宜助言を行う。 ②観察、ワークシート ③材料は漁協に提供してもらい、殻割や仕込み作業などは漁協と観光協会の会長の指導の下で行う。 ④ワークシート
4	魚醤油の醸造（発酵～完成） 休み時間などを利用して定期的に攪拌作業を行う。	①適宜助言を行う ②観察、ワークシート ③絞り作業は観光協会会長の指導の下で行う。 ④ワークシート
10	魚醤油のラベルデザイン 完成した魚醤油の瓶に貼付するラベルのデザインを行う。事前学習として、デザインの役割やテクニックに関する講話を受講する。	①個人で作成したデザイン案を集約して話し合いが円滑に進むように助言を行う。 ②観察、ワークシート ③講話は観光協会の職員に行ってもらう。 ④ワークシート（デザイン案作成）、講話資料
3	販売実習 販売実習は休日2日間にわたって行う。実習に向けた広報活動（ポスター・島内放送）や当日の売り場の装飾などの準備を事前に行う。	①適宜助言を行う ②観察、ワークシート ③観光協会、地域の商店に販売場所を提供していただく。 ④ワークシート
20	研究のまとめ・発表 魚醤油の成分分析、アンケート結果、販売状況などの結果をもとに研究のまとめを行い、地域に向けて発表会（オンライン）において発表する。また、発表会の動画を公開する。	①適宜助言を行う ②観察、ワークシート ③発表は地域住民（小中学生や保護者を含む）や近隣の高校に対して行い、質問や助言をいただく。 ④ワークシート

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

魚醤油のラベルデザイン案を作成する。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1. ラベルデザインに関する講話の内容について振り返る ・観光協会の職員による講話を振り返り、デザインの役割や要素・ポイントについて確認する。	【支援】講話の際のパワーポイント資料などを提示する。 【評価】観察・ワークシート
2. 過去のデザイン案の確認 ・デザイン案を見て、受ける印象や伝わる情報の中身などを検討するとともに、クラス全体で共有する。	【支援】考えがまとまらない生徒に対しては、必要な情報を提示する。 【評価】観察・ワークシート
3. デザイン案について、方向性を確認する。 ・1と2を踏まえた上で、自分たちの商品のターゲットやデザインの方向性を考えるとともに、クラス全体で共有する。	【支援】考えがまとまらない生徒に対しては、必要な情報を提示する。 【評価】観察・ワークシート
4. デザイン案の作成 ・デザイン案を考え、実際に描いてみる。 ・出来上がったものを、タブレットなどを用いて共有し、商品のターゲットに一致するものを選出する。	【支援】机間指導・タブレットを用いて作品を提示。 【評価】観察・ワークシート

### 3. 今回の活動の自己評価

- ・ほかの学校行事などとの兼ね合いから時数が不足しゆっくりと考えさせることができなかつたり、事前に計画を周知させることができないことがあった。
- ・活動を開始するにあたり、活動内容に対する意義について深く考える時間をとることができず、後付けになる部分もあった。
- ・この活動は生徒にとって故郷の課題などを考える機会となった一方、故郷に対する愛着を育むことにはつながりにくかった。
- ・地域の方々に協力をさせていただくことで円滑に進めることができる活動であり、密に連絡を取り、信頼関係を築きながら、打ち合わせなどを行うことで、活動内容を充実させることができた。
- ・この活動を通して、すべての生徒に課題発見、解決能力やプレゼンテーション能力を向上させることができた実感させることができた。

### 4. 今後の課題

- ・今年度は、魚醤油を使った二次加工品の製作を実施することができなかつた。魚醤油の成分分析結果を踏まえた上で、魚醤油の特性に合った二次加工品やレシピの提案をしていきたい。
- ・魚醤油を製造すること以外に、毎年の象徴となるような活動を組み合わせていくことが必要である。・本校において当該学年が行っている活動であるが、生徒や地域の実情に合わせて活動のテーマや内容の見直し・修正が必要である。
- ・毎年の課題となっており、解決に至らない事柄もあるため、抜本的な改革も視野に入れる必要がある。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。